

水面制御装置が令和元年度土木学会賞「環境賞」を受賞しました
—水環境改善に貢献する下水道技術「水面制御装置」の開発と国内外への展開—

このたび、東京都下水道局、東京都下水道サービス、日本工営の3者が、合流式下水道を改善するために開発した特許技術である「水面制御装置」について、令和元年度土木学会賞「環境賞」を受賞しました。

土木学会賞は、1920(大正9)年に創設された、約100年の伝統に基づく全国レベルの権威ある表彰制度です。今回応募した「環境賞」Iグループは、環境の保全・創造に資する新技術開発や概念形成・理論構築等に貢献した先進的な土木工学的研究に対して授与される賞です。

水面制御装置は、既存の雨水吐き室に簡単なステンレス板を設置することで渦を発生、ゴミ等が浮遊している表面水を効率的に水再生センターへのしゃ集管に流下させ、河川などに放流されるゴミ等を70%以上除去できる技術です。これまで国内で1,700箇所以上、海外で計30箇所以上と国内外で広く普及し環境へ貢献したこと、シンプルな構造を有し汎用性の高い技術であること、化石燃料エネルギーを使用せずに水質改善に貢献できること、非常に多くの論文発表があること等が高く評価され、本受賞にいたりました。

- ・水面制御装置の詳細は、下記ウェブサイトをご参照下さい。

<https://www.tgs-sw.co.jp/business/technical/c01/c15/>

